

予測不能な未来社会を 力強く生き抜いていくために！

自ら考え 自律する子ども の育成に向けて

〔想像・創造する力〕 クリエイティブに思考し、表現する子ども

- 「こんな見方もあるのかな」「なぜこうなるのだろう」と、問いをもちながら想像力を働かせる
- 常識にとらわれず新たなアイデアを生み出したり、自分で考えたり選択したりする
- 自分の考えや思いを、相手に理解してもらえるように、工夫しながら伝える



〔協働する力〕 違いを受け入れ、かかわり合う子ども

- 困ったときに他人に頼ることができる
- 相手の特性を理解し、価値観の相違を受け止める
- 考えの相違を踏まえながら、思いや考えを出し合い、課題を解決する



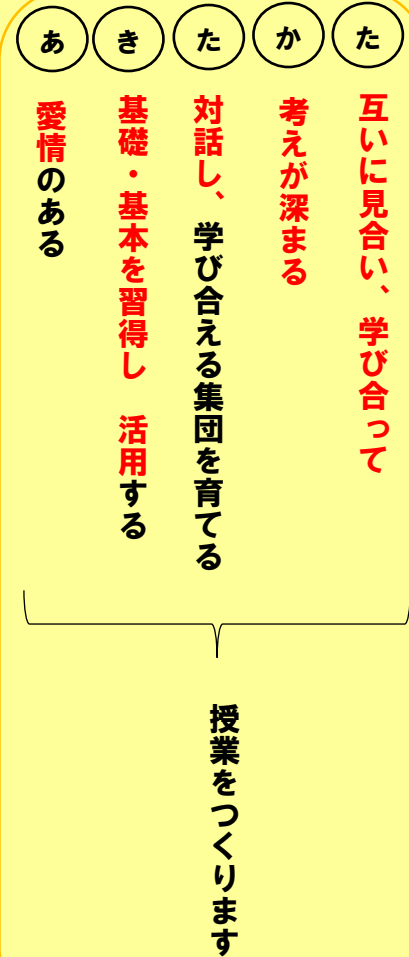
〔自分を知る力〕 自分自身を理解（自己認識）する子ども

- 自分の性格や得意なこと、苦手なこと、どんなことに興味・関心をもっているかなどがわかる
- 自分が学んだことを振り返り、できるようになったことや分かったこと、やりたいことややらなければならないことがわかる
- 「自分だったらどうだろう」と自分事として考える
(当事者意識)



全ての子どもの学びを保障する！

安芸高田授業づくり スローガン



全ての子どもの学びを実現するために、
安芸高田市では次の4つの施策に取り組みます。



施策1 「学び合う」授業づくり

全ての子どもたちが、安心して「わからない」「教えて」と言い合える関係を大切にします。ペアやグループで考えを聴き合い、自分の考えを確かめたり、深めたりする学習を進めます。

まずは、教師が子どもたちの声に耳を傾けることを大切にしています。



施策2 個別最適な学びの推進 ～多様な学びの場の提供～

子どもたちの興味・関心や困り感に応じた学習を充実させます。あらゆる教育の場で一人一人の実態に即した支援を行います。

- 特別支援教育の充実
- 不登校児童生徒への支援
- 日本語の習得に困難のある児童生徒への支援



ICTの活用

施策3

全ての子どもたちの力を最大限に引き出すため、ICTを効果的に活用した授業づくりを行います。発達段階に応じたプログラミング教育や遠隔教育を展開します。



<タブレットの活用>



<電子黒板の活用>

「未来チャレンジ 探究学習（PBL）」の 充実

施策4

子どもたちが、自ら課題を見つけ、実生活、実社会の「答えがない問い」に本気で取り組み、自分らしい答えを見つけ出す学習を進めます。

【探究課題の例】

- ・国際理解、環境、持続可能な社会について
- ・キャリア、ものづくり、スポーツ、よりよい自己実現について など



限られた指導者で
最大の指導力を発揮する！

安芸高田型 チーム担任制の推進

- 複数の教員が、学年全体や2つの学年を指導・支援し、全ての子どもたちの良さや可能性を伸ばします。
- 教員の強みを生かし、チームで助け合って、全員で子どもたちを支援することで、質の高い教育を目指します。

取組例

学年会の担当教員の
ローテーション授業

低・中・高学年
ブロックで合同授業

学級担任の
交換授業

ローテーション制
希望制による面談



コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）を通じた連携

全ての中学校区で、学校運営協議会制度を導入しています。
学校と地域住民等が力を合わせて学校の運営に取り組んでいます。



<学校運営協議会の様子>



<民生児童委員と花植えの様子>